

高知工科大学 経済・マネジメント学群

2024 年度 卒業論文

宗教施設にお金を納めるインセンティブの分析

学籍番号 1250496

氏名 花川湧太

指導教員氏名 草川孝夫

宗教施設にお金を納めるインセンティブの分析 *

1250496 花川湧太

指導教員 草川孝夫

研究背景

宗教離れが世界的に進んでいる中、日本においては、初詣をはじめ、今も宗教施設を訪れる人は多い。そのような人々は、何を目的に宗教施設を訪れているのだろうか。目的として二つの可能性が考えられる。一つは、信仰の対象に日々の感謝を伝えるために訪れる、というものである。もう一つは、何らかの願いをかなえるため、すなわち、見返りを求めて訪れるというものである。これらのどちらが、より正しい理由なのかは、いまだ明らかではない。

研究目的

この問いに答えることが、本研究の目的である。

研究方法

アンケート調査により、合格願いなどの特別な願いがある状況と、初詣などの特別な願いがない状況のそれぞれについて、宗教施設に納める金額を比較する。この比較を、宗教施設を訪れることの多い信仰心の強い人と、あまり訪れない信仰心の弱い人のそれぞれについて、行う。

分析結果

まず、願いがある場合の方が、ない場合よりも、多くの金額を納めていることが分かった。次に、宗教施設年間訪問回数を説明変数、願いがある場合とない場合の金額の差を被説明変数として、回帰分析を行った。その結果、宗教施設年間訪問回数が多い人ほど、すなわち信仰心が深い人ほど、願いの有無での金額の差が小さくなった。

結論

信仰心の弱い人ほど、願いがある場合に納める金額と、ない場合に納める金額の差が大きくなった。このことは、信仰対象に見返りを求めている可能性がある。逆に、信仰心の強い人ほど、願いがある場合に納める金額とない場合に納める金額が近くなった。このことは、信仰対象からの見返りを求めずに、信仰対象に日々の感謝を伝えるなどの目的で、宗教施設を訪れている可能性がある。これらは、信仰心の強さに応じて、宗教施設を訪れる目的が異なることを示唆している。

* 本論文の作成にあたり、ご指導いただいた指導教員の草川孝夫先生に心より感謝いたします。